Teamstudio Build Manager 7.2J リリースノート

はじめに

Build Manager 7.2J ではユーザービリティの機能拡張、UI の変更、そして不具合修正が行なわれています。

ご注意ください： Build Manager 7.2J より製品を使用するために適切なライセンス番号とキーの入力が必要になります。

機能拡張

SPEK-8KTFL5 Build Manager ステータスプラグインにおいて、複数のプロモーションが実行中に、ひとつのプロモーションのアウトプットの終了と次の始まりが明確に確認できるようにプロモーションの開始を示す行を表示するようになりました。

MVAH-8KYK4R 設計更新のステップからのステータスメッセージが、操作完了時にここの要素ごとに更新するように表示するようにしました。

不具合修正

DHOR-8KSJXY Build Manager で署名された設計ノートの最終更新者($UpdateBy)フィールドが、実際の署名者名に合致しないことがまれに発生する問題を修正しました。

SPEK-8KTANY プロモーション後、ACL にプロモーション実行者の名前が残る問題を修正しました。

AMAN-8JQEP4 設計の更新ステップで、「データベースは既に開かれています」のエラーが発生する問題を修正しました。

AMAN-8JSJEW エージェント実行で、エージェントが実際にない場合にステップを中断するようになりました。

DHOR-8B5TV4 「標準パスのコピー」アクションが断続的に実行失敗する問題を修正しました。

JKIY-7RMGZJ 標準パス内のバージョンのステップで標準パスビュー内のメインの文書からバージョンラベル（メジャー、マイナー、ポイント）を取得するようになりました。その文書からラベルを変更する事も可能です。既に製品をインストールしてご使用いただいている場合には、この値を利用するのに、このメインの文書を編集し再保存してください。

TMS-196　Build Manager 7.2J からライセンス番号/キーの入力が必要になりました。

TMS-192　「他のものとして昇格」で起動したユーザーID が¥¥<server>¥<path>¥userid.id　のような形式のネットワークドライブにある場合、プロモーションが失敗する問題を修正しました。

TMS-189　ソーステンプレート内の要素がチェックアウトしているかをチェックするのに CIAO!を使用するようにしました：CIAO!で無視される要素は同様に Build Manager でも無視されます。

TMS-197　プロモーション中チェックアウトされた要素を持つ監視中のターゲットの NTF における問題を修正しました。

TMS-198　プロモーション中において、「ID の切り替え」ステップを追加し、起動したユーザーの ID や別の ID 切り替える事ができるようにしました。

TMS-195　Notes API を介してエラーの詳細がより多くロギングできるようコンパイルのステップを改善しました。

TMS-159　署名のステップで、特定の状況下で設計要素の「$UpdateBy」フィールドに追加できない問題を修正しました。

TMS-178　Teamstudio のロゴ、Build Manager のロゴ、その他のツールのアイコンを変更しあまいた。

TMS-180/181 「Developer」のロールを ACL に追加し、開発者が各ステップの変更を簡単に行なえるようにしました。

TMS-174/175/177/182　新規データベース文書に対して、「defaults」を定義できるようにしました。

TMS-179　プロモーションの「必須ビルドコメント」の選択がデフォルトで「はい」に変更されました。

TMS-173　ACL ステップのロールに対して、すべて選択/すべて解除のボタンを追加しました。

TMS-176　エージェントの実行のステップで、すべて選択/すべて解除のボタンを追加しました。

TMS-95　Template Registry のソートの問題を修正し、ビルドが順番通りに行なわれなかった問題を修正しました。

Build Manager 7.2J へのアップグレードに関して

Build Manager 7.2J では Build Manager で使用する各 DLL に変更があります。その結果、すべてのユーザーはこのリリースで行なう最初のプロモーション実行時のみノーツの実行ディレクトリーに「書き込み」権限が必要となります。